

【プログラムの流れ】

1日目 『将来について考える視点を学ぶ』

13:30 ~
ガイダンス

14:00 ~
澁澤さんの講演

ワークショップ
感じたこと、質問を共有します

16:00 ~
ふりかえり
地域のこと、これからを考えてみよう

17:30 ~
閉会

講座：『きみたちの生きる時代』
講師：澁澤 寿一氏



1952年、東京生まれ。1980年、国際協力事業団(JICA)専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴く。帰国後、1983年より循環型都市「ハウステンボス」等の設立に携わり、取締役として、企画段階から建設・運営段階まで経営に関わる。2002年より、林野庁、文部科学省、(社)国土緑化推進機構とともに「森の聞き書き甲子園(現在は、聞き書き甲子園)」を主催し、「森の手・名人」の知恵を現代の高校生に繋ぐ活動を行い、08年その活動母体として、認定NPO法人「共存の森ネットワーク」を新たに設立。同NPOの理事長を兼任。その後、新環境教育プログラム「豊森(とよもり)なりわい塾」実行委員長を務め、道徳的に定住する若者の育成を進めながら、多業社会の実現を目指す。そのほか、「真庭バイオエネルギー株式会社」代表取締役、「渋澤事務所」代表(渋澤栄一曾孫)などを務める。



講演後は、質問コーナーもあるので直接、澁澤さんに質問もできます。

📎 昨年度参加されたみなさんの声

- ・地方にも都市にも良いところ悪いところがあるけれど人や自然に関心を持たないと思った。
- ・グループで意見を出したり、色々な話を聞いて、色々なことに挑戦して、経験をつまないといいと思った。(但馬地域の高校3年生)
- ・色々なことを知って、やりたいことを見つけたり、視野を広げたりしていいと思いました。自分でも、これからについて考えていきたいです。(但馬地域の高校生)
- ・私たち学生では、できることが限られているけれど、地域のために何かしたいと思った。
ex) ごみ拾い、公共施設のそうじ、高齢者の方が住んでいる住宅付近の雪かきなど(但馬地域の高校1年生)
- ・講義での人の生き方の違いと価値観の変化という話がとても印象に残っています。(丹波地域の高校3年生)

- ・どんな土地でも文化や思いがあり、大切にしなければならぬなと思った。コミュニケーションの大切さを学んだ。(丹波地域の高校2年生)
- ・もっと知りたいと思ったことは、澁澤さんが農村で出会ったご老人達の話をもっと聞きたかった。雪のある季節も雪のない季節も年中働き続けることができる元氣さには話を聞いていて、とても驚いた。また、草刈りを欠かすずにやっているのは、森と共に生きていくための作法だということがとても印象的だった。(他県の大学4年生)
- ・地域でのコミュニケーションの大切さや色々な挑戦をする大切さを学んだ。また、色々な方から話が聞けて、やりたいことが増えた。(丹波地域の高校生)

2日目 『多様な生き方・選択に触れて、これからを考える』

13:30 ~
前回までのふりかえり・オリエンテーション

14:00 ~
ワークショップ
先輩を大解剖

対談！
先輩 × 私達
先輩ゲストに質問や相談？
決してみよう！

16:30 ~
ふりかえり
～どんなことを感じた？～

17:30 ~
閉会
みんなで記念撮影をして修了！
修了証をお渡しします。

『多様な働き方の先輩を知る・これからについて考えるワークショップ』
ファシリテーター：川中 大輔氏
(シズンシップ共育企画・龍谷大学)



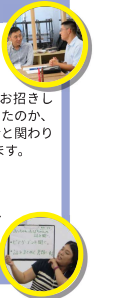
1980年、神戸生まれ。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修士課程修了。高校時代から青少年支援、環境、まちづくり、市民活動支援のNPOに参加し、2003年にシズンシップ共育企画を設立。全国各地で「市民としての意識と行動力」が育まれる「発掘される参加や学びの場づくりに取り組んでいる。現在、同代表。

2017年から龍谷大学社会学部専任教員に着任し、社会イノベーション実践に資する教育・研究に従事。2019年から放送大学委員准教授、日本シズンシップ教育フォーラム(J-CEF)運営委員・事務局長、NPO法人神戸まちづくり研究所理事、兵庫県県民生活審議会委員なども務める。

- ・『地元を出て働いている先輩』
- ・『一戸外に出た後から地元に戻り働く先輩』
- ・『地域に「ターンした先輩』など。

様々な働き方・暮らし方をしている先輩をお招きして、高校・大学時代にどんなことを考えていたのか、今どんなことを考えているのか、地域・社会と関わりながらの生き方・・・などについて、大解剖します。

【登壇予定】
地域に魅力を感じ、地域に移住した先輩
大学等で外に出た後、地域に戻って働きた先輩、
大学等で外に出た後、地域外で働く先輩など4~5名



- ・自分の将来の目標である地元の市の職員になるためのプロセスを考えることができ、将来や大学選びへの不安がやわらいだような気がして、また、考えの幅が広がりました。ありがとうございました。(丹波地域の高校生)
- ・ワークショップでは、私が思いつかなかったことがたくさん出てきて、地元についてまだ知らないことがあるのだと考えさせられました。(但馬地域の高校3年生)
- ・違う世代の人と生き方など、色々なことについて話せたので良い刺激になりました。(但馬地域の高校生)
- ・話を聞いて、世界は広く、まだ知らないことがたくさんあるなと思いました。
「知らない」ことに勝つことなく、やっていくことは、すごいなと思いました。私もできる範囲で頑張っていこうと思います。(丹波地域の高校生)

- ・今日学んだことを忘れず、今後の生活に生かされたらと思います。(丹波地域の高校2年生)
- ・私の家族、村の人たちとのつながりを大切に、村全体で助け合いながら生活をして行こうと思います。(丹波地域の高校3年生)
- ・「持続可能な地域づくり」について全然知らなかったですが、1日目に概念的なことがわかり、2日目に先輩方の話を聞いて、私の知りたかった地元の内側の内側まで知ることができました。私が気付かなかったことや感じなかったことが分かって良かったです。ありがとうございました。(但馬地域の高校生)
- ・持続可能な社会をつくる上で地元での課題など、実際にどのように対策をしていくのかなど市の方々と共に話をしてみたい。(丹波地域の方)